



中学生が未来の地球を考える！大台中学校で 「ペットボトルキャップ仕分け体験」を通じた環境教育を実施

大台町では、次世代を担う子どもたちの環境意識向上と、循環型社会の形成を目指し、大台中学校にて「環境教育」を実施します。今回の授業では、私たちの身の回りにある「ペットボトルキャップ」の仕分け体験を通じて、リサイクルを考えます。

1. 日時

令和8年7月6日（月）

14：30から15：20まで

2. 開催場所

大台中学校 （三重県多気郡大台町上三瀬903番地1）

3. 参加予定人数

大台中学校2年生 生徒35人

4. 内容

本授業では、環境課題等に取り組む専門家を講師として迎え、ペットボトルキャップが、どのような製品に生まれ変わるのかという「リサイクルのプロセス」を学びます。

後半のワークショップでは、混合したプラスチックキャップを材質別に仕分ける作業を行います。

5. 主催者

主催：大台町

講師：日本技術士会 中部本部 三重県支部：副支部長・幹事 山口昇吾様

講師依頼先：三重県地球温暖化防止活動推進センター

6. その他・特記事項

7. 連絡先

生活環境課

担当者：主事 村田 慧介

電話番号：0598-82-3787